

[工事の情報はこちら](#)

8月号に引き続き、工事進捗状況をご紹介します。

4月から鉄骨の組み立てを進め、9月には4階と5階の間に設けている「免震層」の工事を行いました。「免震層」には、建物の重さを支えつつも、地震の揺れを抑える45台の免震装置が設置されています。揺れを抑えることで建物の被害を減らし、設備機器の損傷による停電や断水を防ぐことができます。このように、業務の継続に必要な機能を維持することで、新庁舎では迅速な災害対応が可能です。

現在は、さらに上階の鉄骨を組み立てており、新庁舎の迫力ある姿がどんどん見えてきます。

令和8年5月末の完成を目指し、今後も安全第一で工事を進めていきます。



▲免震層に設置した免震装置
(令和6年9月時点)



▲鉄骨の組み立て状況
(令和6年10月時点)

令和6年10月末時点の
工事進捗率

約34%

